

弓削高 PTA通信

発行・印刷
弓削高等学校
PTA

「次世代へつなぐ、
持続可能な
PTAを目指して」

PTA会長

池本 拓也



日頃よりPTA活動に御協力いただき、誠にありがとうございます。二期二年にわたり会長を務めさせていただき、この度、娘の卒業と共に私の会長職も任期満了を迎えることとなりました。この二年間、私は「時代に合った無理のないPTA」を目指し、本部役員の皆様と共に活動の見直しを進めてまいりました。それにより、「部活動後援会にかかると金活動の廃止」PTA役

員の選任方法の変更及び役員数の削減「PTA役員の募集アンケートの実施」県外生の保護者でもPTA役員になれるようリモート会議の導入」などに取り組みできました。

慣例を変えることへの不安もありましたが、皆様からの「参加しやすくなった」「負担が軽減された」という声に励まされ、また、次世代へつなぐことを想い、進めることができました。

「一年間を振り返って」
PTA副会長
中村 佳名子

高校三年間は、子供たちにとつて社会に出る前の大切な準備期間です。同様にPTAも変化を恐れず、その時々に必要なサポートの形を模索し続けることが大切だと学びました。次期役員の皆様にも、ぜひ新しい発想で、楽しみながら活動の継続をいただければ幸いです。

昨年度4月より副会長と初めてのことと右も左も分からず手探り状態で物事を進めていたため、皆様に色々と御迷惑をおかけした自責の念もあり今年度は「反省を生かしてリベンジ」を目標に、学校行事や各種会議、愛媛県高等学校PTA連合会の委員など、様々なところでPTA活動をして参りました。

講演会や各委員さん方のお話を聞く中で、今後の教育や生活に必要な考え方を勉強することができ、貴重な体験をさせてもらって幸せだと感じると共にこのように機会を与えていただき、誠に感謝しています。紆余曲折ありましたが、

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動、そしてPTA活動に格別の御理解と温かい御協力をお願いいたします。突然ではありますが、保護者の皆様にとつて、PTA活動はどのようなイメージでしょうか。「役員になるで大変そう」「活動内容がよく分からないう」と感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、本校のPTAは今、生徒たちの成長を力強く支える「共育の場」が手携えを遂げています。それは、特定の誰か任せではなく、まさに「みんな

「みんなで支えたPTA活動」
校長 越智 真次

この二年間、本校のPTA活動は大きな変革期を迎えました。その背景には、社会環境の変化、そして「生徒の学習環境をより良くしたい」という保護者の皆様の熱い想いがあります。具体的には、本校の現状に合わせたPTA活動の見直しと、役員組織の改編に取り組んで参りました。これらを支えた原動力は、PTA会長を中心とした活動の活性化です。役員の皆様は、



無事に目標を達成しつつ副会長職を全うできたのもお力添えをいただいた役員の皆様及び先生方のおかげだと思っております。二年間本当にありがとうございました。

「支えた」からこそ実現できた変化です。本紙では、この二年間の変化と、未来に向けた挑戦をお伝えしたいと思います。

大変な御尽力をいただきました。他の副会長の方々、補導、学校保健、人権・同和教育推進の各委員会の委員の方々など、全ての役員の皆様の献身的な御協力に對し、この場を借りて深く感謝申し上げます。皆様の情熱と実行力が、PTAの土壌を豊かに耕してくださいました。

加えて、今年度のPTA活動では新たな一歩を踏み出していきます。本校には多様な地域から生徒が入学していますが、今年度は初めて、遠方にお住まいの県外生の保護者の方から役員を選任することができました。これは、本校のPTAが、地理的な制約を超え、「生徒の成長」という共通の目的に向かつて、より開かれた組織になったことの証だと感じていきます。遠隔地からの御参加は、活動に新しい視点と活力を吹き込んでくれるものと確信しております。

最後に、皆様に嬉しい御報告があります！今年度7月発行の本紙で呼びかけた「HP閲覧数12万1000件」の目標を、12月12日(金)に見事に達成する(1,310件)ことができました。PTA活動」に御参加

いただき、本当にありがとうございました。これから、生徒たちの学校での様子、ホームページを通して見守っていただければ幸いです。

PTA活動は、生徒たちが社会に出るために必要な「生きる力」を育むための、大切な基盤です。保護者の皆様と学校が、それぞれの立場から知恵と力を出し合い、「みんなで支える」という輪を広げていくことが、生徒たちの豊かな未来に繋がります。新たな一歩を踏み出したPTAの活動に、今後とも変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げます。

今年度の活動も残りわずかとなりました。PTA会長をはじめ、役員の方、先生方、保護者の方々の御協力により有意義な一年になりました。

「一年間を振り返って」 PTA副会長

田名後 未来

運動会では生徒が団結し、頑張っている姿、文化祭ではそれぞれの個性を発揮し、楽しく披露する様子などを見ることができ、とても嬉しく思いました。また、バ

ザーではPTA会長が中心となり指揮をとって下さり、役員の方々の尽力で今年は島外からの出店もあり賑やかな文化祭になりました。たくさんの方々のお力添えで無事一年を終えることができました。今後共、生徒達に充実した学校生活を送れますよう、皆様方の御支援、御協力をよろしくお願い致します。



令和7年度運動会

「一年間を振り返って」 PTA副会長

原山 美咲

このたび、副会長としてPTA活動に関わらせていただき、日々の仕事との両立の中で、行事すべてに十分参加できたとは言えませんが、先生方や役員の皆さまの御

尽力により、学校行事やPTA活動が円滑に進められていることを、改めて実感する一年となりました。特に文化祭をはじめとする行事では、多くの方が準備や運営に携わり、生徒たちの学校生活を支えておられる姿に、心から感謝の気持ちを抱きました。PTA活動は、目に見えない役割だけでなく、それぞれの立場でできる形の関わりが大切なのだと感じています。



令和7年度文化祭 (バザー)

「地域とともに歩む 弓削高校の魅力化」 ゆめしま魅力課長

川上 裕大

弓削高校では、魅力化プロジェクトの一環として全国募集を継続しており、一般財団法人地域・教育魅力プラットフォームが運営する「地域みらい留学」にも引き続き参画しています。今年度も県外の中学生を対象とした説明会を実施し、本校の教育内容や上島町での学びについて発信してきました。その一方で、県内の中学生や保護者からの説明会参加や進学に関する問い合わせも増えており、県立学校の再編整備を背景に、高校選択の在り方にも変化が見られています。

今年度は「ゆめしま寮」の第二期生が入寮し、寮の開設からも二年目となりました。寮生の人数が増えたことで、日常的に生活が生まれた。寮生自らが企画・運営に関わるイベントを実施するなど、互いに協力しながら寮生活により充実させようとする取組が広がっています。今年度の総合的な探究の時間は、加し、活動内容の一層の充実が図られるようになりま

した。令和五年度からは、地域課題解決学習を軸とした取組を進め、一年生から三年生が学年混合の班を編成して活動しています。3月14日(土)には発表会の開催を予定しており、これまで校内で行ってきた会場を、今年度はせとうち交流館に変更して実施する予定です。ポスター発表に加え、ワークシヨップや研究内容に関する配付物も用意しており、地域の方や保護者の皆様にも気軽に足を運んでいただける機会としていきます。また、サイクリング班は第五回自転車甲子園において最優秀賞(日本一)を受賞するなど、今年度の活動が高く評価されました。今後も、地域と連携した学びを通して、学校全体のさらなる活性化を目指していきます。

「第五回自転車甲子園」に出場して」

一年 秋山 梅子

私たちは、総合的な探究の時間「サイクリングプロジェクト」の取組の一環として、第五回自転車甲子園に出場し、最優秀賞(第一位)を受賞することができました。今大会は県外からも多くの学校が参加し、年々レベルが高くなっている中で、単に入賞を目標とするだけでは結果にはついていけず、優勝を目指す強い気持ちで挑まなければならぬ。大会前は文化祭などと重なり、十分な準備時間を確保することが難しい状況でしたが、大会一週間前から全員が全力を注ぎ、話し合いを重ねながら発表練習に取り組みしました。当日は、種目前半の実技で出遅れる場面もありましたが、後半のプレゼンテーションと討論で、これまでの取組や思いをしっかりと伝えることができ、逆転で優勝することができました。

令和7年8月20日、私は「株式会社弓削高P.T.A.」を設立いたしました。高校生が自分たちで会社を運営するというのが全国的にも稀な挑戦ですが、本格的にスタートしています。

「株式会社 弓削 KoCo. 設立！」

起業部顧問 越智 雅之



第5回自転車甲子園

とに感謝し、今後も活動に取り組んでいきたいです。

の世界は未知の領域です。市販の専門書を開いても聞き慣れない言葉の連続に、当初は頭を抱える毎日でした。しかし、全国に目を向けると、公立高校で会社を設立した先行校が八校あることがわかりました。

私と校長はすぐに、福岡県立朝倉東高校や、本校と境遇の似た離島にある長崎県立老岐商業高校へ視察に向かいました。そこで出会った方々の熱気、そして株式会社はかた本舗様とご縁が、会社を設立する上で大きな原動力となりました。また、地元司法書士の先生にもお力添えをいただき、生徒たちと一緒に一歩一歩、会社としての「形」を整えていきました。

現在、当社の運営は起業部の生徒たちが中心となっており、活動の柱は「地域イベント事業」と「商品開発事業」の二本です。

刈り、小中学生との交流を目的とした「あつまれ!かみじまつ子」など、活動の幅はどんどん広がっています。

商品開発事業では、株式会社はかた本舗様と協働し、「マグルじやーきー」や「SKY means」といった商品を開発しました。文化祭やゆげこうフェスタで販売し、大変ご好評をいただいています。現在は、上島町の特産品をモチーフにしたシルの商品化や、町内企業様との新たなコラボにも意欲を燃やしています。

会社設立の過程や日々の運営を部員たちと共有する中で、彼らは「社会の仕組み」を肌で感じ、深い学びを得ているように思います。自分たちで段取りを考え、書類を揃え、契約を交わし、売上が管理する。すべての活動が、生徒たちの「生きた責任感」を育む貴重な教育の場となっています。

私たちはこれからも、上島町の皆様とともに歩む会社でありたいと考えています。コラボしてくださる企業様も募集中です!

生徒たちの挑戦を、ぜひ温かく見守っていただければ幸いです。



令和7年度第2学期学校評価アンケート（三者比較）

（令和7年12月実施）

分 類	評 価 項 目	評 価 値					
		生 徒		保護者		教職員	
学校教育 全 般	① 学校の教育方針や重点目標の伝達と理解	89	◎	82	◎	100	◎
	② 情報発信の工夫（ホームページ・「弓削高行事予定」など）	80	◎	96	◎	100	◎
	③ 学校教育の推進と学校生活への充実感	84	◎	90	◎	100	◎
学習指導 教科指導	④ 丁寧で分かりやすい授業の実践	93	◎	78		100	◎
	⑤ 生徒の能力を伸ばすための個別指導の導入と理解の深化	93	◎	75		93	◎
	⑥ 学習形態の工夫や習熟度別・類型別学級編成による進路希望に応じた指導	89	◎	85	◎	93	◎
	⑦ 積極的なICTの活用、話し合いの場の設定など、主体的・対話的な学びの実践	90	◎	72		100	◎
	⑧ 適切な課題設定による学習習慣の定着	63		49	▲	100	◎
進路指導	⑨ 進路決定のための計画的で適切な進路情報の提供	86	◎	78		93	◎
	⑩ 進路選択に役立つガイダンス機能の充実	78		72		87	◎
	⑪ 個別指導・面接指導の実施による進路相談の充実	90	◎	73		100	◎
生徒指導	⑫ 命を大切にする心や社会のルールを守る態度の育成	92	◎	97	◎	100	◎
	⑬ あいさつ・言葉遣いの指導の徹底	96	◎	90	◎	80	◎
	⑭ 生徒同士及び生徒・教師間の豊かな人間関係の育成	95	◎	87	◎	93	◎
健康安全 環境指導	⑮ 健康で安全な生活に資する施設・設備の整備	82	◎	79		80	◎
	⑯ 心身の健康に問題が生じたときのケア体制の充実	86	◎	69		87	◎
	⑰ 事故防止・防災・防犯に対する適切な指導	90	◎	87	◎	100	◎
人権同和 教育 教育相談	⑱ あらゆる教育活動における人権・同和教育の視点に立った教育の推進	93	◎	82	◎	93	◎
	⑲ 生徒が気軽に相談できる教育相談体制の整備	78		72		100	◎
特別活動	⑳ 地域に貢献できる生徒の育成につながる奉仕活動の充実	90	◎	87	◎	100	◎
	㉑ 生徒と教師が一体となった部活動の推進	92	◎	87	◎	93	◎
	㉒ 生徒と教師が一体となった生徒会活動・学校行事の推進	98	◎	94	◎	100	◎
総平均値		88	◎	81	◎	95	◎

※ 評価値は、肯定割合（「できている」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合（％））を示す。

※ ◎－80％以上、▲－60％未満を示す。